

# もりただより

vol.20

発行責任者  
森田 卓司  
岡山市北区建部町  
大田 4750-20  
TEL:086-722-9900  
FAX:086-722-9911  
TEL:086-722-2237  
(FAX 兼用)

発行年月日 '14.10.1

## 伝説の岡山市

### ご挨拶

清秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
平素から、森田たくしの議員活動に對しましてご指導を頂き心より感謝申し上げます。  
さて、本年夏、広島市で大規模な土砂災害が発生し、多くの犠牲者が出ました。この8月豪雨や西日本を中心とする日照時間が少なかった気象状況について、気象庁の異常気象分析検討会は、30年に一度の異常気象だったと報告がされています。同様に、日本各地で豪雨等による被害がいろいろあります。

被害にあわれた方にお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々に對しまして心よりご冥福をお祈りいたします。  
これから台風の季節を迎えますが大きな災害がないことを祈るばかりです。

岡山市の中心市街地では、12月に大型商業施設の開業を控え、岡山市の魅力発信に大きな期待をする反面、交通渋滞を含む多くの課題を抱えているところとす。

岡山市の周辺地域では、中山間地域を中心に人口減少に歯止めがかからない状態であることは現実として受け止め、その対策も考える事は当然だと感じています。

安倍首相も地域活性化と人口減少克服のため「地方創生」に取り組む決意を表明されています。

高齢化が進む中ではありますが、今後「健康寿命」をいかに延ばしていくかは重要な課題であり、岡山市は体操を通じて世代を超えた交流を図り、地域の絆を深めること等を目的とした「OKAYAMA!市民体操」を作成しています。「健康寿命」を延ばすためには、様々な事が考えられますが、運動量の多さも一つの要因であるともいわれています。

ちなみに、平成10年の調査では、岡山市の健康寿命は男性(69.1歳) 女性(72.1歳)で、政令市の中で一位の浜松市とは3年以上短いという統計でした。

昨今、地方議員のあり方がマスコミ等で大きく取り上げられています。私自身は「誠実に・着実に! 対話と実行!」を忘れることなく議員活動を行っていく所存です。

今後とも叱咤激励、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

### 岡山市区づくり推進事業見直し

平成27年度事業募集(平成27年1月募集)から実施する。

現行		平成26年度事業	見直し案		
①身近な交流部門	事業	小学校区で実施される地域活性化イベント 各小学校区につき1年度1事業	御津地区ふれあい事業 ①桜祭り②納涼まつり ③お月見会 ④たけの森はっほね桜まつり ⑤建部町ふるさと野菜市感謝祭	①身近な交流部門	事業 現行どおり 補助金 現行どおり
	補助金	対象経費の2分の1 上限40万円			
②広域交流部門	事業	2以上の小学校区の単位で実施される地域交流イベント 各小学校区につき1年度1事業	夏祭りinみつ 建部町納涼花火大会	②広域交流部門	事業 現行どおり 各小学校区につき1年度1事業 ○ただし、類似事業がなく、より広範囲の交流が図られる事業については、各小学校区につき1年度2事業まで実施できる。 補助金 現行どおり
	補助金	対象経費の2分の1 上限200万円			
③地域活動部門	事業	概ね小学校区以上の単位で実施される防災・防災・環境美化・支えあい活動・健康づくり・地域資源を生かした事業	御津獅子舞継承活動事業 ○ふるさと活性化事業「たけの森はっほねProject」 ○竹枝・生きものの里プロジェクト(旭川かいり調査)	③地域活動部門	事業 ○概ね小学校区以上の単位 ○活動の範囲の広がりが期待できる場合町内会単位でも可 ○持続可能な岡山市づくりに向けて、市民協働で地域課題を解決するために、継続的に実施する事業(※具体的事例を明記する) 補助金 対象経費の2分の1 ○ただし、新たに事業を立ち上げる場合は、初年度に限り4/5とする。 上限200万円
	補助金	対象経費の2分の1 上限200万円			

※総務委員会資料より

## 個人質問

### 活用しやすい区づくり推進事業へ

Q: 森田 卓司

以前に私も指摘をしましたが、包括外部監査でも、イベント開催初期には補助率の引き上げを実施することでスタート時の活用が容易な制度とする等の方策が考えられると指摘されていますが、どのような対応を考えているのか。

A: 安全・安心ネットワーク担当局長  
区民が企画した自主事業を区民が審査す

平成26年5月16日臨時岡山市議会が5月16日に開催されました。  
平成26年6月定例市議会が6月10日開会・6月27日まで18日間の会期で開催されました。  
又、平成26年9月定例市議会が9月2日から9月26日まで25日間の会期で開催されました。

### 防災キャンプの認識と継続を問う

Q: 森田 卓司

①本年度20カ所で防災キャンプが開催、計画されているが、参加された方の感想、当局的現状認識と課題についての所見を問う。

②防災キャンプ事業は、今後も継続実施するのか。

### A: 岡山っ子育成局長

①防災キャンプは、青少年の健全育成を主眼に、公民館を中心に地域団体などによる実行委員会が体験を通じて防災意識を高める事業であり、平成24年度からスタートし、今年度末までに市内36中学校区のうち23中学校区で実施する予定となっている。参加された方からは、学んだことを家族でもう一度話し合いたい、地域でみんなが助け合う意識が欠けていた、自分の命は自分で守らなければならぬなど思ったなどさまざまな感想をいただいている。

②防災、減災の意識の醸成を図るために、今後は事業内容の見直しを含めて、どういった方法がいいのか、やり方について検討して、また継続してやっていきたい。

### 平成26年6月定例岡山市議会

#### 個人質問項目

1. 街と田園のあり方について
2. 広報紙「市民のひろばおかやま」配布等に係る自治振興報償金について
3. 被災者支援について(土砂災害)
4. 甲第154号議案(岡山市民生委員の定数に関する条例)について
5. 平成25年度包括外部監査より  
(1) 岡山市区づくり推進事業について  
(2) 岡山市老人クラブについて

### 平成26年9月定例岡山市議会

#### 個人質問項目

1. 防災・減災(ライフラインを含む)について
2. 指定管理者制度について
3. たけの森公園について
4. 移住定住等について

インターネットで検索クリック!!

森田たくし 検索



各地域で開催されている防災キャンプ(建部小学校区の模様)



街と田園のあり方の所信を問う

Q: 森田 卓司

今議会冒頭で大森市長は、中心市街地の活性化は喫緊の課題である、岡山駅前で大規模商業施設が開業する本年秋を一つの節目と位置づけ、中心市街地の活性化に向けて多くの対策を講じると、中心市街地には多くの施策を所信表明で示されている。しかしながら、周辺地域の対策についてはふれていない。

まちと田園はどの地域で区別するのか、また、現段階で田園地域に対しての認識・理想像を問う。

A: 大森 市長

① 質問の前に人口減少の話が言われている。日本創成会議の分科会の試算の話もあった。創成会議での議論、私の40年近い親友であります増田寛也氏が、発表をしていることもあり、私も時々彼と話をしている。私が国土交通省の国土政策局長在籍時、日本、38万平方キロメートルを、1平方キロメートルのメッシュに切り、それが38万個となる。その人口動向、社会増減、自然増減を全て勘案して40年後、50年後の動向等をだした。人口の問題を踏まえて一つ一つの政策の推進は肝に銘じて考える。

② 岡山市には質の高い都市機能と多様な自然環境が共存しており、岡山市の魅力であり個性でもあると考えている。このよ



うな個性を生かして、市民の皆さんが都市の利便性と自然の豊かさのどちらも享受できる都市づくりを進めるためには、秩序ある土地利用を進めながら市域全体をバランスのとれた都市構造に形づくる



将来に希望が持てる地域づくりを目指して

③ 自然、歴史、文化などの地域資源を生かし、地域の特性や実情に応じた持続可能で住みやすい地域づくりを進めることが重要と考えている。特に鉄道駅の周辺や合併した旧町の中心などは、地域拠点や生活拠点として日常生活を支える機能の維持、充実を図る必要がある。こうした考え方のもと、これまでも合併地域につきましまして地域の新たな動きをきっかけに、住民主体の地域づくりが生まれてくることを期待している。

④ 地域の具体的な課題解決に向けては地域住民の方々がみずから問題として地域の将来像を考えることが大切ですが、御津・建部地域においては岡山市の地域住民活動応援事業を活用し、学区・地区単位で活性化協議会が組織されたと聞いている。こうした住民みずからが地域の課題解決に取り組む動きを市としても応援し、調和のとれた周辺地域のまちづくりを進めていく。

⑤ 最初の人口問題について、森田議員は誤解をされてないようですが、私の申し上げているコンパクトシティというのは、中心市街地に人の集積を図ろうというものではない。もちろんこういう一つの集積は必要ですが、岡山市789平方キロメートル、非常に広いエリアであり、それぞれの拠点がありません。それぞれのエリアで一つの拠点を、そこに集積して商業機能、医療機能も対応できるようにしていく、そして中心市街地とそういうところを公共交通等々で結んでいく、こういうようなイメージのものである。決して中心市街地だけを考えているわけではございません。ということをもう一度誤解なきように申し上げておきたいと思えます。

安全安心な給水を求める

Q: 森田 卓司

平成10年の災害で品田橋が流れて断水をした。本年2月には、旭川右岸の市道建部町品田10号線がのり面の大崩落を起こし、N T T回線が不通になる等、現在も通行止め状態です。急峻な場所を切り開いた道路であり、いつかの崩落が起きても不思議ではない道路に配水管が埋設されている。そこで地域住民が安全・安心に給水を受けることができるように、国道53号線に配水管を布設替えをすることを考えるべきではないか。



A: 水道事業管理者

建部地域の3分の2の世帯は品田地区内の旭川右岸道路に布設している口径300ミリメートルの主要配水管から給水しております。当該道路はこれまで何度か崩落事故があり、今後新たな崩落が発生し、配水管が破損した場合、広範囲に断水することとなる。



その対応策として、配水管の代替ルートとして旭川左岸にある川口配水池から市道、県道落合・建部線及び国道53号線を経由して新八幡橋付近までを平成27年度、来年度から3カ年で整備する計画にしている。

指定管理者の指定

Table with 5 columns: 施設の名称, 指定管理者の名称, 指定の期間, 債務負担行為期間, 債務負担行為限度額. Rows include 御津スポーツパーク, 建部町文化センター, たけは八幡温泉, 灘崎文化センター.

※平成26年9月市議会で同意



岡山市議会は9月定例市議会を終えいづもなら一息するところですが、10月には平成25年度決算審査特別委員会が始まります。今年度、私は一般会計審査特別委員会の委員となりました。予備日を含め8日間の審査となりましたが、市民の皆様方の税金が無駄に使われていないか等、非常にやりがいのある委員会であり、私自身から申し出て当委員会の委員となりました。街には来年4月の市議会議員の選挙をひかえ立候補予定者のポスターが掲示されるなど焦る気持ちでいっぱいですが、まずは決算委員会での審査をしっかり行います。今回の「もりただより」は、議会の質問を出来るだけ報告しようとした為、文字だけが並ぶ物になっ

活力のある地域づくりを目指して!!

森田へのご意見・ご要望がありましたら... TEL:(086) 722-2237・722-9900 FAX:(086) 722-9911 携帯電話:090-1337-2249 HP http://www.ta-morita.com/ E-mail:t-morita@po12.oninet.ne.jp 活動日誌 http://blog.livedoor.jp/takushi\_morita/

Table titled '岡山市住民基本台帳・人口' with columns for 男, 女, 計, 前年比. Rows include 御津支所, 建部支所, 北区計, 岡山市計.

平成26年8月末現在